



◆写真：東日本大震災の被災者とともに、生活クラブ、「非営利・協同セクター」、提携生産者が協同して実施してきた復興支援まつり（2019）集合写真

協同組合講座

生活クラブ生協が神奈川大学で、市民の方も参加できる連続寄付講座を開催します。10年目の今年は**オンラインで開催**します。

現代の日本は、経済や社会システムの停滞がさまざまな問題を引き起こしています。こうした問題の解決にむけて協同組合やNPO等をはじめとした「非営利・協同セクター」が多種多様な活動や事業に取り組んでいます。

この講座では、社会動向や歴史的経緯を踏まえながら協同組合運動の理論、そして参加型福祉・たすけあい、ワーカーズ・コレクティブ運動、労働、エネルギー政策、震災復興などに関する「非営利・協同セクター」の実践を学びながら、社会課題を解決する協同組合と非営利協同セクターの展望について皆さんとともに考えていきます。皆様のご参加をぜひお待ちしております。

非営利・協同セクターの役割と展望

生活クラブ生協寄付講座（オンラインzoom開催）

4月7日-7月14日
毎週水曜日 13:30-15:10
※5月5日は除く
開催形式:オンライン開催 (zoom)
参加費:無料

※オンラインに伴う通信料は参加者の負担となります

お問い合わせ：生活クラブ神奈川・政策調整部
045-474-0985 月～金（祝日含）10-17時

参加方法：

下記のQRコードを読み取り、
専用フォームにてお申込みください。



※参加用URLは申し込み完了後、各講座当日まで申し込み時に入力したメールアドレスに共有する予定です。
※開催日までにzoomアプリのダウンロードをお願いします。

受講生募集！生活クラブ生協

<第1回> 4月7日(水)

協同組合（生活クラブ生協）について講師：①・③篠崎みさ子/生活クラブ生協理事長、
②出口裕明担当教授（〇数字は以下の内容の担当）

①主催者あいさつ、②本講座の主旨、狙い、講座概要、成績評価方法等を説明します。③協同組合並びに非営利市民事業とはどのような組織か。出資金や剰余金のあり方、経営の考え方等の原則を、生活クラブ生協の日常の組合員活動を通じて説明します。また、組合員主権とはなにか、協同組合・NPOの参加・運営形態の違い等、本講座を受講するにあたっての基礎学習を行います。

<第2回> 4月14日(水)

世界に広がる協同組合運動-その今日的な意義と課題

講師：田中夏子/前日本協同組合学会会長

協同組合とはいかなるものか。そして、世界と日本の協同組合運動の歴史の変遷と到達点を概説します。そのうえで、今日の世界的に高まっている協同組合に対する期待（SDGs等）にも触れながら、協同組合（非営利・協同セクター）の課題と展望について検証します。

<第3回> 4月21日(水)

地域社会に展開する協同組合の可能性

講師：三浦一浩/一般財団法人地域生活研究所研究員

日本で多面的な生活課題、地域課題の解決と雇用を生み出している協同組合について、「生協は何故つくられたのか」をテーマに、その歴史的背景、設立過程を含めて事例を基に紹介します。また、なぜ現在の法制度が日本の協同組合組織の広がりや妨げているのか、協同組合法の問題点を概説します。

<第4回> 4月28日(水)

食を取巻く課題と協同組合の役割

講師：伊藤由理子/生活クラブ連合会会長

生活クラブ生協の事業と運動の取組みを、「生活クラブの消費材10原則」等を踏まえ、食料自給や食の安全（添加物、農薬、遺伝子組換え、放射能等）などの取組み事例を通して、持続可能な開発目標（SDGs）の推進視点を含む共同購入運動や協同組合運動について紹介します。さらに、消費者、生産者の立場から、食の安全、農業保護、グローバル経済システムについて考えます。

<第5回> 5月12日(水)

社会的連帯経済と協同組合

講師：藤井敦史/立教大学教授

グローバル資本主義は、格差・貧困を拡大し、少子高齢化・人口減少社会、気候変動を引き起こし、更にコロナ禍も引き起こしている原因となっています。資本主義でもなく共産主義でもない、新たな経済のオルタナティブとして注目されるのが「社会的連帯経済（social and solidarity economy）」です。民主的な運営によって、労働者・消費者・地域住民などの人間や環境を重視した経済活動を行うというもので、生活に根ざした地域社会でオルタナティブな「経済」をいかにしてつくるか、生命や生活を支えるサブシステムエコノミーとしての社会的連帯経済と協同組合の価値についてその理念・理論・実践について学びます。

<第6回> 5月19日(水)

平和・民主主義と日本国憲法

講師：坪郷實/早稲田大学名誉教授

今日、「戦後レジームの脱却」を標榜する政権によって、基本的人権の保障、国民主権、平和主義が、ないがしろにされようとしている状況は継続しています。安保関連法施行、憲法改正議論の加速化も予測される中、協同組合運動の基盤でもある平和と民主主義について憲法を軸に考えます。

<第7回> 5月26日(水)

①「レイドロー報告」の到達点と今日における課題**②中間振り返り**

講師：半澤彰浩/生活クラブ生協専務理事

①レイドロー博士報告「西暦2000年における協同組合」（1980年）が出された時代背景と、協同組合の理念・原則を紹介し、また、同報告書が提起した協同組合の「思想の危機」と危機克服のための4つの優先分野について概説します。その上で、今日の社会をどうみるか、食・経済格差・人口減少・エネルギー等の問題を通して、協同組合の課題と展望に触れます。②また、前半の概論の振り返りを行い、非営利市民事業、協同組合の理論や概念をさらに深めます。

<第8回> 6月2日(水)

少子・高齢・人口減少社会における日本の社会保障

講師：小川泰子/本学非常勤講師、(社福)いきいき福祉会理事長

今日の日本の人口減少社会の特徴と一連の社会保障（介護、医療、年金）改革の課題を概説し、子育てや生活困窮者に対する支援の強化が求められている状況と、公的福祉の限界性を共有します。そして、これからの時代の個人が尊厳をもった生き方・死に方、「福祉」とは何かを問題提起します。

<第9回> 6月9日(水)

自然エネルギーと協同組合

講師：桜井薫/生活クラブ生協副理事長

生活クラブ生協のエネルギー自給圏づくりに向けた取り組み（脱原発社会、CO2削減、エネルギー自治、再生可能エネルギーの発電施設の建設等）を紹介するとともに、地球温暖化問題を踏まえ、日本の自然エネルギー普及の現状及び環境政策の課題を考えます。

<第10回> 6月16日(水)

東日本大震災からの復興を進める新しい協働**—NPOと生活協同組合**

講師：多々良言水/公益財団法人共生地域創造財団事務局長

人と人とのつながりが基本である協同組合は、東日本大震災とその後の復興への取組みにあたり、大きな役割を果たしてきました。活動の経験から培われた支援の考え方や現在も震災復興に取組む「非営利・協同」による実践や課題を学びます。

<第11回> 6月23日(水)

市民による参加型福祉と社会的包摂の取組み

講師：①君島周子/生活クラブ生協副理事長

②片山丸/生活クラブ生協たすけあいネットワーク事業部長

①少子高齢・人口減少社会が急速に進み、私たちは様々な生活リスクにさらされています。今日の社会情勢を踏まえつつ、生活クラブ生協の共済活動の取組みを学びます。②生活クラブ生協の活動の延長として参画している公益社団法人フードバンクかながわの取組みなどを紹介します。

<第12回> 6月30日(水)

若者の就労支援や、地域で雇用創出に**チャレンジするワーカーズ・コレクティブ運動**

講師：松川由実/NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会専務理事

困難を抱えた若者たちとの共働・共生をめざす、W.Co協会の誕生経緯、これまでに若者や生活困窮者等を対象とした就労支援事業、居場所や働き場づくり等の取組みを、「はたらっく・ぎま」が日本協同組合学会実践賞を受賞したことも含めて紹介します。またW.Coによる支援の課題や今後の展望について考えます。

<第13回> 7月7日(水)

協同組合原則を基盤とした新しい働き方の可能性

講師：木村満里子/神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会

協同組合原則を基盤とした雇われない働き方であるワーカーズ・コレクティブ（W.Co）とは何か。その歴史、価値と原則、特徴、課題をDVDも活用し学びます。また、W.Coの起業の流れ、事業・運営について事例を踏まえ、居場所・たまり場などの取組みも紹介し、これからの運動のあり方を展望します。

<第14回> 7月14日(水)

①生活クラブ生協で働くということ**②全体まとめ**

講師：①生活クラブ生協（地域生協専務理事）

②篠崎みさ子/生活クラブ生協理事長

①生活クラブ生協職員からの報告および提起を通して、協同組合を形づくっている多様な働き方や意義について考えます。
②講座全体を振り返り、歴史的な大転換期を迎えた世界における非営利・協同セクターの今日的意義に関する理解、見識を深めます。

サステイナブルなひと、
生活クラブ